

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 9 月 18 日(2024.9.18)

【公開番号】特開 2024-71590(P2024-71590A)
【公開日】令和 6 年 5 月 24 日(2024.5.24)
【年通号数】公開公報(特許)2024-095
【出願番号】特願 2024-50456(P2024-50456)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 9 月 9 日(2024.9.9)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

遊技球を発射可能位置に送り出す送出装置と、
前記発射可能位置に位置した遊技球を遊技領域に向けて発射可能な発射装置と、
前記発射された遊技球の内、前記発射装置に向けて戻り流れる戻り球が通過可能な所定球
通路と、
その所定球通路を構成する構成手段と
前記送出装置に設けられる不正防止手段と、
を備える遊技機であって、
前記不正防止手段は、金属製の板状部材からなり、その板状部材の屈曲によって形成され
た複数の板面部の間に、遊技球に配設された糸が進入し得るように構成され、
前記構成手段には、前記戻り球の通過は許容し、少なくとも一部が前記所定球通路に位置
されている状況の不正部材が逆流することを妨げ得るように構成される特定手段が設けら
れ、
その特定手段は、前記構成手段に対する姿勢が固定されており、遊技球に配設された糸の
一部が前記遊技領域に存在する場合に前記糸に外力を加え得るように構成されることを特
徴とする遊技機。

30

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 2
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 2】

40

パチンコ機などの遊技機において、不正行為対策を施した遊技機がある(特許文献 1)

。
【手続補正 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 3
【補正方法】変更
【補正の内容】

50

【 0 0 0 3 】

【 特 許 文 献 1 】 特 開 2 0 1 5 - 0 2 4 1 7 9 号 公 報

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 4

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 4 】

しかしながら、上述した従来の遊技機では、不正行為対策に改良の余地があるという問題点があった。本発明は、上記例示した問題点などを解決するためになされたものであり、不正行為対策を改善できる遊技機を提供することを目的とする。 10

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 5

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 5 】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、遊技球を発射可能位置に送り出す送出装置と、前記発射可能位置に位置した遊技球を遊技領域に向けて発射可能な発射装置と、前記発射された遊技球の内、前記発射装置に向けて戻り流れる戻り球が通過可能な所定球通路と、その所定球通路を構成する構成手段と前記送出装置に設けられる不正防止手段と、を備える遊技機であって、前記不正防止手段は、金属製の板状部材からなり、その板状部材の屈曲によって形成された複数の板面部の間に、遊技球に配設された糸が進入し得るように構成され、前記構成手段には、前記戻り球の通過は許容し、少なくとも一部が前記所定球通路に位置されている状況の不正部材が逆流することを妨げ得るように構成される特定手段が設けられ、その特定手段は、前記構成手段に対する姿勢が固定されており、遊技球に配設された糸の一部が前記遊技領域に存在する場合に前記糸に外力を加え得るように構成される。 20

【 手 続 補 正 6 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 8

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 8 】

請求項1記載の遊技機によれば、不正行為対策を改善できる。